

美里町建設工事総合評価落札方式（特別簡易型）

落札者決定基準

【工事名：平成30年度 三十軒大橋外橋梁補修工事（繰越明許）】

宮 城 県 美 里 町

令和元年10月

1. 総則

本基準は、美里町が発注する『平成30年度 三十軒大橋外橋梁補修工事(繰越明許)』における請負者の選定を、総合評価落札方式(特別簡易型)で実施するにあたっての基準を示すものである。

2. 総合評価点の算定方法

(1) 総合評価は、入札参加者のうち、次のいずれの要件も満たす者を対象に行う。

入札参加者が公告に定めた必要な要件を満たし、無効でない者
価格以外の評価を行うため、入札公告で定めた技術等の資料(以下「総合評価技術資料」という。)を提出した者

入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

失格基準価格を設定した場合は、失格基準価格を下回らない者

(2) 総合評価点は、次の算式により算定する。

総合評価点 = 価格評価点 + 価格以外の評価点

(3) 価格評価点と価格以外の評価点の配点は、次のとおりとする。

価格評価点 80点

価格以外の評価点 20点

3. 価格評価点の算定方法

(1) 価格評価点は、次の算式により算定する。

価格評価点 = 配点(80点) × (最低入札価格 / 入札価格)

[小数点以下第3位四捨五入]

(2) 最低入札価格は各入札者(失格となった者を除く)の入札金額のうち、最低の価格とし、入札価格は各入札者の入札金額とする。

4. 価格以外の評価点の算定方法

(1) 価格以外の評価点は、入札参加者が提出した総合評価技術資料により、価格以外の評価項目及び評価基準に基づいて算出した評価点の合計とする。

(2) 総合評価技術資料の提出が無い者の取り扱い

・総合評価技術資料の提出が無い者は失格とする。

(3) 価格以外の評価点は、入札参加者の申告を最大点とし、錯誤の取り扱いにより発注者が行う修正評価は減点措置のみとする。

(4) 虚偽の申告による応札は失格とする。

・虚偽の申告とは、入札参加者が有している実績以上の内容で申告をした場合で入札参加者が申告内容を証明できない場合とする。

(5) 錯誤の申告による応札

・入札参加者が有している実績以上の内容で申告をした場合で、入札参加者が申告内容に虚偽がないことを明確に証明できたときは、錯誤による応札とし、最低評価点に修正する。

(6) 錯誤の申告による応札

・入札参加者が有している実績以下の内容で申告をした場合は、錯誤による応札とし、申告内容どおりに評価する。

- (7) 総合評価技術資料で提出された内容は、その履行が確保できなかった場合、美里町建設工事等入札参加業者等指名停止要領(平成18年訓令第59号)の規定による措置の対象とする場合がある。

5 . 落札者の決定方法

(1) 落札者の決定

- ・入札価格が予定価格の範囲内の価格をもって入札した者のうち、総合評価点の最も高い者を落札候補者とする。

(2) 総合評価点が高点の場合の取り扱い

- ・総合評価点が高点者が2人以上あるときは、入札価格が低い者を落札候補者とし、入札価格が同じ場合は、くじ引きにより落札候補者を決定する。

(3) 配置する技術者に対するヒアリング

- ・落札候補者から提出された資料等の適否を判断するため、必要に応じて配置する技術者に対してヒアリングが出来るものとする。

その場合、例えば以下の項目について確認する。

- ・配置する技術者の経歴、資格
- ・同種工事の経験の有無
- ・同種工事の施工実績として挙げた工事の概要 等

(4) 配置する技術者の取り扱い

- ・配置する技術者の変更は原則認めない。(工場製作等を含む工事又は技術者のやむを得ない事情等により変更が必要と監督職員が認めたときを除く)本工事が完了するまでの間に配置する技術者の変更は原則認めない。

6. 価格以外の評価項目及び評価点

下記における評価項目についてそれぞれ評価を行い、各々評価点を算出する。

美里町総合評価落札方式・価格以外の評価項目及び評価基準

評価項目	評価内容	評価基準	配点	
施工能力	同種工事の施工実績	過去 10 年間の宮城県内における同種工事实績の有無	a.同種施工実績有り	5
		b.施工実績無し	0	
	工事成績	宮城県工事成績点数【過去 5 年間平均値】	a. 80 点以上	4
			b. 65 点以上 80 点未満	2
			c. 65 点未満又は実績無し	0
	ISO 認証取得	ISO9001 あるいは ISO14001 の認証取得の有無(建設業に関するものに限る。)	a. ISO9001 及び ISO14001 を取得している。	2
			b. ISO9001 又は ISO14001 を取得している。	1
			c. どちらも取得していない。	0
	配置技術者の能力	過去 10 年間における同種工事の施工実績の有無	a.同種工事实績有り	4
			b.実績無し	0
指名停止等処分	過去 2 年間における指名停止処分の有無(美里町からの指名停止に限る。)	a.無し	0	
		b.指名停止を受けたことがある(1 回につき)	2	
地域貢献	営業拠点の所在地	a.美里町内に本社があるもの	2	
		b.美里町内に支店、営業所があるもの	1	
		c.美里町内に無いもの	0	
	災害協定又は除融雪業務	美里町との災害協定締結又は除融雪業務契約の有無	a.災害協定締結又は除融雪業務契約有り	2
b.無し			0	
その他	事業所の労働安全衛生	a.協会への加入有り	1	
		b.協会への加入なし	0	
合 計			20	

同種工事の要件

国、県又は市町村が発注した橋梁工事(補修含)を元請として受注した工事。

7. 提出資料並びに資料作成方法

- (1) 別紙様式1については入札書等と同封して郵送で提出し、それ以外の総合評価技術資料は落札候補者が決定した段階で、落札候補者から提出を求める。
- (2) 別記様式1には応札者記入欄に応札者自らが該当点数を記入し提出すること。
- (3) 資料は、次に従い作成すること。

同種工事の施工実績

- ・別記様式2に記載すること。
記載する同種工事の施工実績は1件でよい。
- ・同種工事とは、発注者が指示する工種を含む工事とする。
- ・国、県又は市町村の発注した工事を対象とする。(宮城県内で施工した工事)
- ・当該工事の開札日の属する年度の、直前10ヵ年度及び当該工事入札公告日までに完成し、引渡しが完了した工事を対象とする。
- ・同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS登録されていない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分)の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

工事成績

- ・美里町工事成績評点の実績がないため、当分の間、宮城県工事成績点数を評価基準とする。

I S O 認証取得

- ・美里町に入札参加資格登録をしている事業所(受任機関を置いている場合はその受任機関)が取得している認証取得状況を評価する。認証取得証明書類等の写しを提出すること。

配置技術者の同種工事の施工実績

- ・別記様式3に記載すること。記載する同種工事の施工実績は1件でよい。
- ・実績として記載する配置技術者は、主任または監理技術者として従事した工事とする。
- ・同種工事とは、発注者が指示する工種を含む工事とする。
- ・国、県又は市町村の発注した工事を対象とする。(宮城県内に限らない)
- ・当該工事の開札日の属する年度の、直前10ヵ年度及び当該工事入札公告日までに完成し、引き渡しが完了した工事を対象とする。
- ・同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS登録されていない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分)の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。の施工実績と重複し、配置技術者の従事が確認できれば提出を省略できる。

指名停止処分

- ・当該工事の開札日の属する年度の、直前2ヵ年度及び当該工事入札公告日ま

でに美里町から指名停止を受けた回数を基準とし、1回につき2点減点とする。

営業拠点の所在地

- ・入札参加資格承認を受けている事業所の所在地とする。また、美里町内に支店及び営業所がある場合は、前年度の法人町民税納税証明書等(写し)を提出すること。

災害協定締結又は除融雪業務

- ・美里町との災害協定の有無により評価する。協定書写しを提出のこと。
- ・当該工事の開札日の属する年度の、直前2ヵ年度及び当該工事入札公告日までに受注した美里町との除融雪業務契約書等の写しを提出すること。
- ・応札者が加入する団体が協定または契約している場合、そのことが証明できるものを提出すること。

労働安全衛生

- ・建設業労働安全災害防止協会への加入実績がある場合は、証明する書類の写しを提出すること。

美里町総合評価方式・価格以外の総合評価技術資料

工事名： _____
 住所又は所在地 _____
 会社名 _____
 代表者名 _____ 印

評価項目		評価内容	評価基準	配点	応札者 記入欄	発注者 採点欄
施 工 能 力	同種工事 の施工実 績	過去10年間の宮城県 内における同種工事实 績の有無	a.同種施工実績有り	5		
			b.施工実績無し	0		
	工事成績	宮城県工事成績点数 【過去5年間平均値】	a.80点以上	4		
			b.65点以上80点未満	2		
			c.65点未満又は実績無し	0		
	I S O 認 証取得	ISO9001 或いは ISO14001 の認証取得 の有無(建設業に関する ものに限る)	a. ISO9001 及び 14001 のいずれも取得	2		
			b. ISO9001 又は 14001 のいずれか取得	1		
			c.どちらも取得してい ない	0		
	配 置 技 術 者の能力	過去10年間における 同種工事の施工実績の 有無	a.同種工事实績有り	4		
			b.実績無し	0		
	指 名 停 止 等処分	過去2年間における 指名停止処分の有無(美 里町からの指名停止に 限る)	a.無し	0		
			b.指名停止を受けたこ とがある(1回につき)	2		
地 域 貢 献	営 業 拠 点 の所在地	本支社の所在地によ り評価	a.美里町内に本社が在 るもの	2		
			b.美里町内に支店、営業 所が在るもの	1		
			c.美里町内に無いもの	0		

	災害協定 又は除融 雪業務	美里町との災害協定 締結又は除融雪業務契 約の有無	a.災害協定締結又は除 融雪業務契約有り	2		
			b.無し	0		
そ の 他	事業所の 労働安全 衛生	建設業労働災害防止 協会加入の有無	a.協会への加入有り	1		
			b.協会への加入無し	0		
合 計				2 0		

同種工事の要件

国、県又は市町村が発注した橋梁工事（補修含）を元請として受注した工事。

応札者は応札者記入欄に応札者自ら点数を記入し提出すること。

会社名 _____

同種工事の施工実績

工事名： _____
 住所又は所在地 _____
 会社名 _____
 代表者名 _____ 印

同種工事の条件		総合評価技術資料の下欄に示す要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)
工事名称等	工事名称	工事
	発注機関名	市
	施工場所	市 町
	契約金額	、 、 円
	工期	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
	受注形態等	単体 / ・ J V (出資比率 %)
工事概要	同種の工事の条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 橋梁補修工事 支承工 箇所 護岸工 一式

同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS(登録されていない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分))の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

記入欄の明示は記入例である。

同種工事の施工実績

工事名： _____
 住所又は所在地 _____
 会社名 _____
 代表者名 _____ 印

同種工事の条件		総合評価技術資料の下欄に示す要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。)
工事名称等	工事名称	
	発注機関名	
	施工場所	
	契約金額	
	工期	
	受注形態等	
工事概要	同種の工事の条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること。	

同種工事の施工実績については、記載する工事のCORINS(登録されていない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分))の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績が不明な場合については、平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

主任（監理）技術者の資格・工事实績

工事名： _____

住所又は所在地 _____

会社名 _____

代表者名 _____ 印

配置技術者の従事役職・氏名		技術者
最終学歴		大学 土木工学科 年卒業
法令による資格・免許		1級土木施工管理技士（取得年及び登録番号） 監理技術者資格 （取得年、有効期限、登録番号及び登録会社） 監理技術者講習（取得年、修了証番号）
工事 経験 の 概要	工事名称	工事（CORINS登録番号）
	発注機関名	市
	施工場所	県 市 町
	契約金額	、 、 円
	工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日
	受注形態等	単体 / ・ JV(出資比率 %)
	従事役職	主任（監理）技術者
工事 内容	同種工事条件を満たす 工事であることが確認 できる内容を記述する こと	・ 橋梁補修工事 支保工 箇所 護岸工 一式
申請時 におけ る他工 事の従 事状況	工事名称	工事
	発注機関名	市
	工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日
	従事役職	現場代理人・主任（監理）技術者・工事主任等
	本工事と重複する場合 の対応措置	
CORINS登録の有無		有(CORINS登録番号) ・ 無

申請時における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。（従事している工事の従事役職はすべて記入すること。）

主任（監理）技術者の経験等については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分））の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で配置予定技術者の経験等が不明な場合については平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。

記入欄の明示は記入例である。

主任（監理）技術者の資格・工事实績

工事名：_____

住所又は所在地_____

会社名_____

代表者名_____ 印

配置技術者の従事役職・氏名		
最終学歴		
法令による資格・免許		
工事 経 験 の 概 要	工事名称	
	発注機関名	
	施工場所	
	契約金額	
	工期	平成 年 月 日～平成 年 月 日
	受注形態等	
	従事役職	
工事 内 容	同種の工事条件を満たす工事であることが確認できる内容を記述すること	
申請時 におけ る他工 事の従 事状況	工事名称	
	発注機関名	
	工期	
	従事役職	
	本工事と重複する場合の対応措置	
	CORINS 登録の有無	

申請時における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。（従事している工事の従事役職はすべて記入すること。）

主任（監理）技術者の経験等については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認ができる部分））の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で配置予定技術者の経験等が不明な場合については平面図、構造図、数量総括表等を必ず添付すること。